

看護管理者応援研修

臨床で身体拘束をしないための 看護管理者の役割

身体拘束をしない看護の実現に向けて、参加者と意見交換を行いながら自施設・自部署での目標立案にチャレンジします。
一歩を踏み出してみたいと思っている皆様、ぜひ私たちと一緒に考えてみましょう！

2018年
1 / 21 日
10:00～16:00
(9:30より受付開始)

予定プログラム

午前

・講義

1)【医療や介護を受ける高齢者の尊厳を守るためのガイドライン】【身体拘束予防ガイドライン】のポイント

2)身体拘束をしないための看護管理者の役割

3)職場の倫理風土を高めるために出来る工夫とは

・グループに分かれて自部署の課題の紹介と共有

午後

・グループワークと討議内容の共有

1)身体拘束をしない職場づくり

2)チャレンジシートの作成

会場 ウィンクあいち（名古屋市）

対象 看護管理者（定員60名）

会費 学会員：無料

非学会員：2,000円

研修担当者（五十音順）

長谷川美栄子（医療法人 東札幌病院）

浅井さおり（日本医療大学）

内山孝子（日本赤十字看護大学）

大串祐美子（医療法人 東札幌病院）

小野光美（大分大学）

北村愛子（大阪府立大学）

寺岡征太郎（和洋女子大学）

友竹千恵（目白大学）

三浦直子（医療法人 溪仁会 札幌西円山病院）

申し込み方法

- ・氏名・所属・職位・連絡先メールアドレス・会員の有無（会員の場合は会員番号）を明記して日本看護倫理学会事務局（jnea-2017@bunken.co.jp）へメールでお申し込みください。折り返し事務局より受付メールをお送りします。
- ・非学会員の方は、当日会費をお支払いください。

参加にあたってのお願い

事前に自部署での課題を考えてご参加ください。昼食は各自でご用意ください。

申込期限：2017年12月20日（水）※定員になり次第締め切ります

問合せ先

日本看護倫理学会事務局（担当：臨床倫理ガイドライン検討委員会）E-mail: jnea-2017@bunken.co.jp

